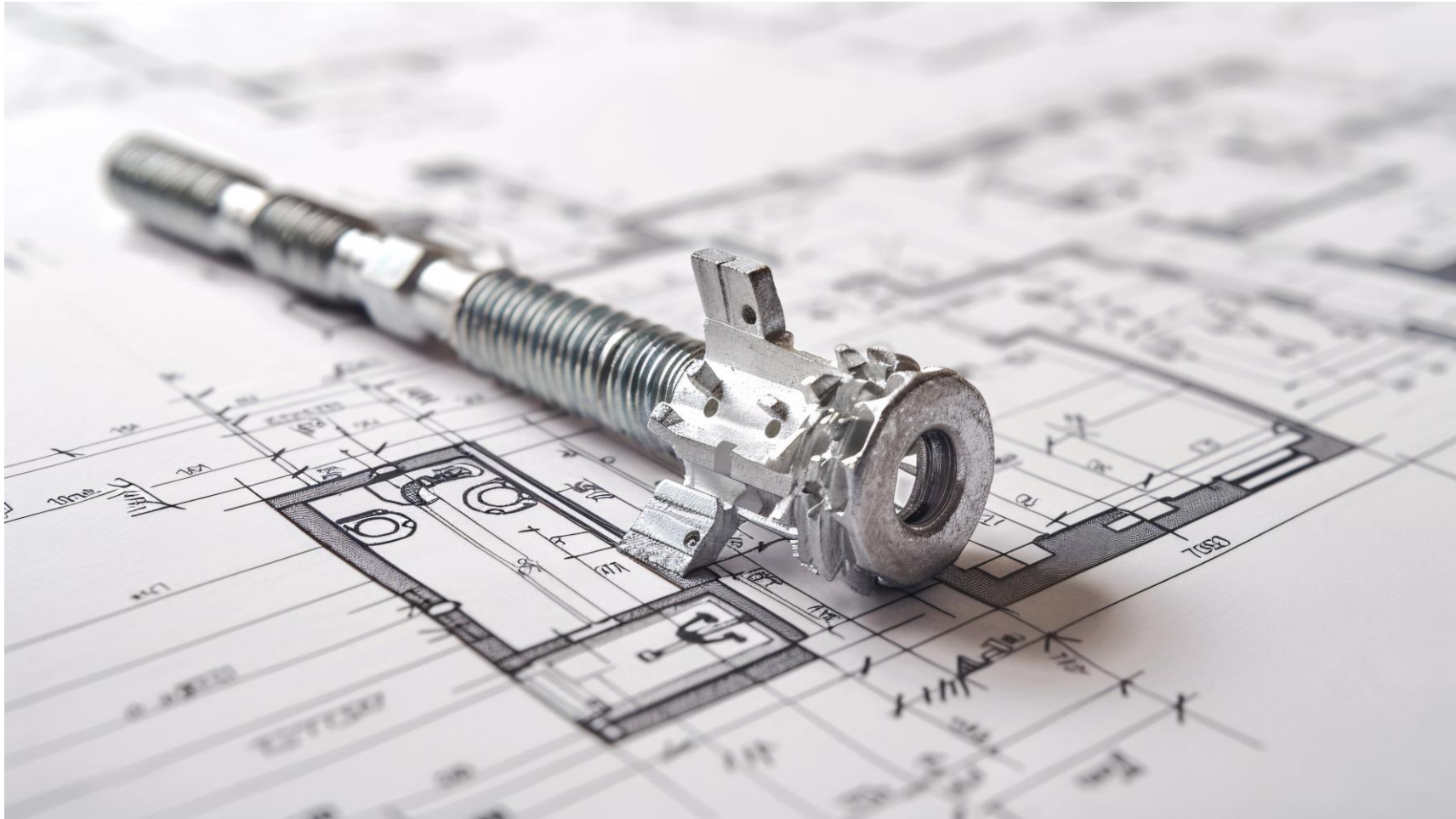


現場と経営をつなぐ経営基礎知識

～技術者が知っておきたい会社のお金と経営の仕組み～



自己紹介

- 中島 吉紀（53歳）、京都府出身
- 製造業で25年以上、開発業務に従事
新規技術・新規事業開発・技術戦略
- 現在、中小企業診断士
40代半ばまでBS、PLが読めなかった
- 40歳ごろ、会社が経営危機に・・・
技術だけでは会社は理解できない、ことを痛感



はじめに

経営危機の最中 経営幹部Aの発言

「当社は長年の内部留保が手厚いので、会社はつぶれない」

当時の私…「そうか、会社は大丈夫なんだ！」

「違和感がある。でも、どこがおかしいのか、今は言葉にできないかもしれない」

このセミナーの終わりには、

この発言の何が不完全なのか、皆さん自身が説明できるようになります

本セミナーの構成

第1部 現場と経営はなぜすれ違うのか

技術者が経営を知る意味
現場と経営の認識ギャップ
経営判断の背景を理解する

→ 技術者が「経営」に歩み寄ってほしい

第2部 会社のお金の流れを理解する

内部留保とは何か
貸借対照表から会社の構造を知る
損益計算書から会社の現状を知る
黒字倒産とキャッシュフロー

→ 財務諸表の面白さを感じて欲しい

第3部 技術者の仕事を経営視点で考える

設備投資の考え方
労働生産性とは何か
技術者が経営感覚を持つ価値

→ 仕事に役立ててほしい

このような流れです。

以降、第 1 章からセミナーを進めていきます